

## ○ミオコーレスプレー [外]

【重要度】 【一般製剤名】 ニトログリセリン nitroglycerin 【分類】 ニトログリセリン舌下スプレー

【単位】 ○6.5mg/g (7.2g/本) (1 噴霧中 0.3mg)

【常用量】 1回1 噴霧, 舌下投与

【用法】 1回1 噴霧を舌下に投与 [口腔内投与では吸収が低下するため舌下投与とする]

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (3,6)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (3)

【特徴】 ニトログリセリンの舌下投与のエアゾール剤であるため、口腔粘膜 (頬粘膜等を除く舌下粘膜) から速やかに吸収され、血漿中濃度の立ち上がりが高く狭心症発作を迅速に寛解する (速効性)。また、取り扱いが簡便であり、運動時や入浴時などでも使用可能である (簡便性)。密封容器のため外気との接触が避けられ、安定性に優れている。

【主な副作用・毒性】 脳貧血、血圧低下、熱感、潮紅、ほてり、動悸、頭痛・頭重感、発疹、悪心・嘔吐、肝障害、舌の刺激感、舌痛など

【吸収】 舌下粘膜 (1)  $ka=0.7389/\text{min}$  (1)

【F】 舌下 38% (13) 頬粘膜では吸収率が低下するので必ず舌下投与する (1)

【 $t_{max}$ ]  $4.1 \pm 0.3\text{min}$  (1)

【代謝】 肝臓 (1) グルタチオン S-トランスフェラーゼが関与 (1)

【排泄】 ほぼ完全に代謝され主として尿中及び呼気中に排泄 (1) 【CL】  $230\text{mL}/\text{min}/\text{kg}$  (15)

【 $t_{1/2}$ ] 約  $3.0\text{min}$  (1)

【蛋白結合率】 約 60% (1,11)

【Vd】  $179.6\text{L}/\text{man}$  (1)  $3.3\text{L}/\text{kg}$  (13,15)

【MW】 227.09

【透析性】 物性からほぼ除去されないと思われるが未変化体の半減期は短く、透析性を考慮する必要はない (5)

【TDM のポイント】 有効血中濃度域  $1.2 \sim 11\text{ng}/\text{mL}$  (15) TDM の対象にならない 【O/W 係数】 高い (11) 122 (クロロホルム/水系)

【相互作用】 クエン酸シルデナフィルとの併用により降圧作用が増強し、過度に血圧を低下させることがあるため併用禁忌。降圧作用及び血管拡張作用を有する薬剤との併用、アルコール摂取により血圧低下が増強されることがある (相加効果)。非ステロイド性抗炎症剤との併用により血管拡張作用が減弱される可能性がある (プロスタグランジン  $I_2$  等の合成阻害)

【効果発現時間】 約 1~2min

【効果持続時間】 約 30min

【備考】 口中が乾燥している場合にニトロペンよりもよい適応となる。初めて使用する場合は 6~7 回空噴霧し、使用時は容器を立てて持ち、指が顎に付くまで容器を口に近づけ、舌を上顎に付くまで大きく上げてから舌の裏側に 1 回スプレーする。頬の裏側にスプレーした場合は吸収が半分になる。3 分経過しても効果がなければ、もう 1 回だけ追加する。一度に 2 回以上スプレーしない。1 本で約 100 回噴霧できる。

【更新日】 20180605

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。